

## 滋賀県の女性医師支援施策(令和3年度)

お問い合わせ先: 滋賀県健康医療福祉部医療政策課 医療人材確保係  
TEL: 077-528-3613 e-mail: ef00070@pref.shiga.lg.jp

### ① 相談窓口の設置

- ① 滋賀県医師キャリアサポートセンター(滋賀医科大学内)  
滋賀県内の女性医師を対象とした育休等からの復職などについての相談を受け付けています。  
TEL: 077-548-2826 e-mail: joisodan@belle.shiga-med.ac.jp
- ② 滋賀県医療勤務環境改善支援センター(滋賀県病院協会内)  
滋賀県内の医療機関を対象とした働きやすさ向上のための環境整備などについての相談を受け付けています。  
TEL: 077-500-3106 e-mail: sikk-sc@sbk.co-site.jp

### ② 復職支援等研修事業(補助金) ※令和2年度利用実績: 1病院

- ◆事業の内容  
県内病院が産育休や介護等の理由により一定期間離職していた医師を対象とした医療現場への復帰に必要な研修を行った経費に対し補助します。
- ◆補助率  
2/3(補助限度額: 研修医1人あたり120万円)

### ③ 病院勤務環境改善支援事業(補助金) ※令和2年度利用実績: 9病院

- ◆事業の内容  
(1) 補助対象1  
救急搬送件数が年間1,000件以上2,000件未満であり、地域医療に特別な役割がある県内病院等が行う勤務医の労働時間短縮のための総合的な取組にかかる経費に対し補助します。
- (2) 補助対象2  
救急搬送件数が年間1,000件未満の県内病院が勤務環境改善のために行う次の①~③にかかる経費に対し補助します。  
①産休・育休に係る代替職員の雇用、②医師事務作業補助者の雇用、③看護補助者の雇用
- ◆補助率  
(1) 補助対象1 1/2(補助上限額: 稼働病床数 × 266千円 × 1/2)  
(2) 補助対象2 1/2(補助上限額: ①~③各2,785千円。最大2事業まで申請可能)

### ④ 病院内保育所事業運営事業(補助金) ※令和2年度利用実績: 25病院

- ◆事業の内容  
病院内保育所の運営費に対し補助します。
- ◆補助率  
①公立病院・独立行政法人・国立大学法人: 1/3以内、②公的病院: 1/2以内、③民間病院: 2/3以内

#### 滋賀県女性医師ネットワーク会議:

<https://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/doc/wdm.html>



#### 滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局

ハグナビしが <https://hugnavi.net/>



#### 事務から一言!

滋賀県庁健康医療福祉部 医療政策課  
引き続き、皆さんが安心して働き続けることができる環境づくりに取り組んでいきます。

滋賀県病院協会  
協会内に「医療勤務環境改善支援センター」を設置して、誰もが働きやすい病院づくりを支援しています。

滋賀県医師キャリアサポートセンター  
地域医療のリーダーとして活躍される女性医師、若手医師、医学生の皆様のキャリア形成をサポートします。

#### 発行: 滋賀県女性医師ネットワーク会議

- 会長 梅田 朋子 滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点准教授  
/独立行政法人 地域医療機能推進機構滋賀病院 乳腺外科診療部長
- 副会長 卜部 優子 社会医療法人誠光会 淡海医療センター 産婦人科統括部長  
西島 節子 彦根市立病院 小児科主任部長/滋賀県医師会理事
- 委員 有田 泉 高島市民病院 小児科科長  
岩波 寿子 医療法人心寿海 岩波整形外科医院 院長/滋賀県医師会  
加地 まり 加地眼科 院長/滋賀県医師会  
金 共子 日本赤十字社 大津赤十字病院 第二産婦人科部長  
柴田 晶美 滋賀医科大学 医師臨床教育センター副センター長 特任助教  
山原 真子 滋賀医科大学 医師臨床教育センター副センター長 特任講師 (以上、五十音順)

お問い合わせ先: 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学 クオリティマネジメント課内  
(事務局) 滋賀県医師キャリアサポートセンター TEL 077-548-2826 FAX 077-548-2832  
E-mail: ishicsc@belle.shiga-med.ac.jp HP: <http://www.shiga-med.ac.jp/~ishicsc/>



## 滋賀県女性医師

2022年(令和4年)2月

# ネットワークだより

vol.11

## 滋賀県女性医師ネットワーク会議10周年

滋賀県女性医師ネットワーク会議は、滋賀県の女性医師による、女性医師を支援するネットワークとして、2011年に大澤 涼子会長のもと発足しました。

交流会では講演を聞き、滋賀県の病院における勤務環境に関するアンケートを集計報告し、様々な意見交換を行ってまいりました。2016年からは県の滋賀県医師キャリアサポートセンターに属することとなり、施策や情報を届けやすくなりました。私たちは男女を問わず、医師のみならず、社会全体としてのワーク・ライフ・バランスを目指して活動しております。

この1年間、コロナの流行により、私たちの生活はだいぶ変わりました。社会生活はもちろん、講演会や学会などもzoomなどの遠隔システムを利用することとなり、直接顔を合わせてのディスカッションができなくなりました。非常に不自由な状況ではありますが、リモート会議は、現地までの移動時間が節約され、身体も楽になり、ワーク・ライフ・バランスにはプラスになる面も多々あるように思います。今まで当たり前だった古いしきたりが、より合理的に新しく変化するきっかけになるかもしれません。私の専門は乳腺外科ですが、30歳代以下の日本乳癌学会員は約70%が女性医師となり、女性医師はライフイベントを乗り越えながらのスキルアップのみならず、次世代を教育するためのキャリアアップも望まれている状態です。社会の意識改革や組織改革、重点的な社会的サポート体制のさらなる充実が急がれています。

#### 滋賀県女性医師ネットワーク会議

##### 会長 梅田 朋子

滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点准教授/独立行政法人 地域医療機能推進機構滋賀病院 乳腺外科診療部長



京都教育大学附属高校15期生、滋賀医科大学8期生 学生時代はテニス三昧でした。今は乳腺の魅力にはまっています。夫は研究者。趣味はピアノで、ショパンが好きでエチュードを習っています。旧姓を使用しています。現在は実家の近くに住み、3人の子育てをしながら、片道32kmを通勤しています。ステップアッププログラムの講師をしながら、一緒に乳腺診療する人を募集中です。

今年は交流会を開催できず、私たちはネットワークを強化することに力を注ぎました。個人情報の扱いがより慎重になり、「ネットワークだより」を各病院の女性医師宛に直接お送りし難くなっています。そこで、会則を整えて会員登録をお願いして、情報を共有することに致しました。この「ネットワークだより」vol.11には、メンバーの自己紹介を載せています。私たちの活動に賛同していただけるようでしたら、ぜひ会員登録をしてください。

働き方改革により、社会全体の働き方が変わってきています。社会の意識が変わり、制度が整備され、いろいろなライフイベントに際して、女性医師にかぎらず、医療界全体が働きやすく、個々の人が輝ける職場となることを願ってやみません。これからも滋賀県女性医師ネットワーク会議をよろしく願いいたします。

#### これまでの女性医師交流会

第1回 2012年12月15日(土)	今 舵を切る! 多様な働き方へ 女性医師の勤務環境改善に向けた講演2本・総合討論	第5回 2017年2月18日(土)	古くて新しい「当直」問題 ~やっぱりそこ?!~ 滋賀県副知事、健康管理センター理事長の講演、座談会
第2回 2013年12月7日(土)	ワーク・ライフ・バランス ワーク・ライフ・バランスに関する講演・アンケート・座談会	第6回 2017年11月18日(土)	女性医師も男性も楽しく働く!! ~キャリアアップも子育ても充実~ 女性医師支援、活躍について講演2本、パネルディスカッション
第3回 2014年12月6日(土)	わたしたちが働き続けるために ~長時間労働の医療界に風穴を開ける~ 改善取り組み事例、ロールモデル紹介の講演・アンケート・座談会	第7回 2018年10月27日(土)	みんなが活躍できる働き方改革 キャリアアップに関する講演、働き方ケースカンファレンス
第4回 2015年12月5日(土)	医師のワーク・ライフ・バランスが 実現できる職場環境づくり 事例紹介の講演、ドクターズクラブに関するアンケート・座談会	第8回 2019年11月30日(土)	“本音で語ろう” どこで、どんなキャリアを磨くか! 医師のキャリアに関するパネルディスカッション・アンケート・座談会

## 各委員紹介

### ト部 優子

淡海医療センター 産婦人科統括部長

皆さんこんにちは。淡海医療センター産婦人科のト部優子です。今年で在勤15年になります。淡海医療センターには下の子供が生まれたとき、はじめはパートのつもりで勤務をはじめ、常勤となり、徐々に仕事が忙しくなり、気が付けば15年経過していました。今では後輩が増えてきて、手術や分娩の指導を行っています。週4日の勤務で休日は家の雑事をこなしています。今年自治会の班長をしています。また、子供が小さいときは、保育所、小学校や中学校の役員をしたこともあります。家庭のことに費やす時間はとてもリフレッシュになり、心の安定となります。予定の無い休みの日はのんびり過ごしてグダグダしています。

滋賀県女性医師ネットワーク会議では若い先生が仕事や家庭の両立に悩んだ時に何かのヒントになればと思いテーマを決め交流会を開催しています。今年度はコロナ禍のため開催できませんが、是非来年度は開催したいと考えていますので参加よろしくお願ひいたします。



### 西島 節子

彦根市立病院 小児科主任部長

皆さま、こんにちは！彦根市立病院小児科で働いている西島節子です。

1980年に滋賀医科大学に入学し京都から250ccのバイクで通学を始めました。2年の時に同級生たちと漫画研究会を立ち上げて、雑誌を作ったり映画(8mm映画ってご存知ですか?)を撮ったりしました。3年生の時にヨット部に入り6年の夏まで活動しました。卒業後は小児科に入局しましたが小児循環器の分野に興味があったので約3年間東京に勉強させてもらいに行きました。こうして書いてみると好きなことをやってきたんだなーと思います。

2007年に彦根市立病院に異動になりました。そこで滋賀県女性医師ネットワーク会議の委員になり、男女共同参画などと言われ始めたために小児科学会の代議員と滋賀県医師会理事の仕事がやってきました。今まで多くの人に巡り合いお世話になった恩返しも必要と考えて、それぞれを務める今日この頃です。



### 有田 泉

高島市民病院 小児科科長

こんにちは。着物初心者の有田泉です。実は私、3年前まで着物には全く興味無しでした。夫の母から35年前に数枚の着物を譲り受けましたが、ずっとタンスに仕舞ったまま(m(\_ \_)m)。それが、3年前にひよんなことから着付けを友人から習うことになりました。実際に着物を着てみると、工夫したら気楽に楽しめることが分かり、それ以来、休日は着物にハマっています。

オン・オフをしっかり切り替えて、平日は高島市民病院という中規模病院で小児科医師として働いています。病院機能評価委員会委員長として、病院のソフト面の機能向上に多職種と取り組む仕事もしています。病院外では滋賀県女性医師ネットワーク会議などに参加し、他院の方々と協力し合っています。世の中は新型コロナウイルスの影響で大きく変わりましたが、自分も変わるものですね。若い方々は変化を味方につけて、素敵な道を歩んで下さい！



### 岩波 寿子

岩波整形外科医院 院長

S63(1988)年卒の岩波寿子、整形外科医です。今は大津市で父の医院を継承して、開業医をしています。

卒業以来、整形外科という女性の少ない科に入局したために、今思えば理不尽な扱いを受けることが当たり前でした。その中で特に疑問も感じずに暮らしてきました。女性医師の交流会の活動に参加して、女性医師であることのメリットやデメリットを考える機会が増えましたが、本当は「女性医師」「女医」などと「女」をつけてくられるのではなく、医師としていかに充実して生きられるかだと思います。

後輩の男女問わず医師たちが、重責を担う仕事しながら、自分の人生も充実して過ごせるようになればいいなと思っています。

今の私は、結婚、出産、育児、離婚、親の介護。それなりに楽しい人生です。



### 加地 まり

加地眼科 院長

医師はいろいろな働き方があります。常勤、非常勤、研究者そして私のような開業医。子供二人を出産し、主人(一般人)と時間が合わず、このままでは子供に影響があると考えた30代。勤務時間が自分で選択できる開業を選びました。

開業医は自分で決定できる反面、責任も自分ひとり。勤務時間と経営のバランスが必要です。開業医は知識の更新をする機会が少ないこと、人を雇う苦勞、経営の観点が必要なことが勤務医とは違います。開業当初は積極的に医師会で経営の情報を仕入れていました。子供が小さいときは夜出かけられず、飲み会などで情報を仕入れる男性医師を羨ましく思ったものです。この会議も若い先生方への情報提供を目的に作られています。目の前のことをこなすことも大事ですが、情報は自分の人生をよりよいものに変える手助けをしてくれます。

この会議に興味を持ち、参加していただければ嬉しく思います。

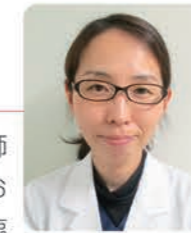


### 柴田 晶美

滋賀医科大学 医師臨床教育センター 小児科

はじめまして。滋賀県女性医師ネットワーク会議の委員をしております滋賀医科大学小児科、医師臨床教育センターの柴田晶美と申します。2005年に滋賀医科大学を卒業し、同卒後臨床研修センターでの初期臨床研修を経て、2007年同小児科学講座に入局しました。滋賀県内の複数病院で勤務後、2019年滋賀医科大学小児科 特任助教を経て、2020年より現職の医師臨床教育センター副センター長に就任しました。その傍らで、滋賀県医師キャリアサポートセンターの専任医師として、滋賀県と共同で、滋賀で働く若手医師や学生のキャリア形成のサポートを行ったり、女性医師の就労支援などを行ったりしています。

滋賀県女性医師ネットワーク会議を通して、女性医師の皆様や今後医師として働かれる学生の皆様に、より良い就労環境を提供すべく情報発信していければと存じます。よろしくお願いいたします。



### 金 共子

大津赤十字病院 第二産婦人科部長

あつという間に35年過ぎたなというのが正直な気持ちです。あれもできない、これもまだまだと思ひながら毎日過ごしてきました。30年も医者をしていれば随分と出来上がった動じない人になるんだと若い頃先輩諸氏を見上げていましたが、自分がそこに至ると、なんの、今も毎日次々とくる難題に慌てふためき迷ってばかりの日々です。

1987年に産婦人科医として研修を始め社会に出ました。来年の春でなんと35年になります。学生の頃から「結婚・出産することがあっても仕事は続ける」「開業はせず、できれば定年まで勤務医を続ける」の二点は譲れないなと思っていました。今の若い先生からすれば「へっ!?!」と思われるようなことかもしれませんね。とにかく(定年はまだですが)この二つはなんとかかりました。

今は、若い先生に教えてもらうことが多い毎日です。職場の環境などで少しでもサポートしたいなと思っています。



### 山原 真子

滋賀医科大学 医師臨床教育センター 腎臓内科

皆さん、こんにちは。滋賀医科大学 医師臨床教育センターの山原真子です。

私は2005年に滋賀医科大学を卒業後、同大学および公立甲賀病院にて初期臨床研修を行い、2007年に滋賀医科大学糖尿病内分泌・腎臓・神経内科に入局し、腎臓内科医となりました。その後、大津市民病院などで研修を行い、2010年より滋賀医科大学博士課程へ進学、主に糖尿病性腎症における基礎研究を行ってきました。学位取得後、2015年からは2年半の間、ドイツのフライブルク大学へ研究留学をさせていただき、2018年より現在の医師臨床教育センターに在籍しています。

現在は、研修医教育に携わったり、大学院生と基礎研究を続けたりと、臨床のみならず様々なことに挑戦しています。このネットワーク会議を通じて、皆さんといろんな交流や情報共有ができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

